



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年11月9日

上場会社名 ケミプロ化成株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 4960 URL http://www.chemipro.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片木 茂行  
 問合せ先責任者 (役職名) 総合管理部長 (氏名) 竹内 亨 TEL 078 (393) 2530  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有・無  
 四半期決算説明会開催の有無：有・無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,998	△16.7	156	△48.1	59	△74.3	45	△42.2
24年3月期第2四半期	4,798	0.0	300	7.2	230	16.2	79	△60.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	2.77	—
24年3月期第2四半期	4.80	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	13,909	3,731	26.8	225.22
24年3月期	12,656	3,771	29.8	227.60

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,731百万円 24年3月期 3,771百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有・無

### 3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,940	△7.4	280	△46.8	80	△77.7	50	△62.4	3.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有・無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有・無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
- ④ 修正再表示 : 有・無

(注) 詳細は、[添付資料] P 3 「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期2Q	16,623,613株	24年3月期	16,623,613株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	55,044株	24年3月期	53,747株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期2Q	16,569,527株	24年3月期2Q	16,570,375株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成24年5月10日に公表いたしました平成25年3月期通期業績予想ならびに期末配当予想については、平成24年11月9日付「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」において変更しております。なお、詳細については[添付資料] P 3 「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	1
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 第2四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における世界経済は、米国では、雇用者数や個人消費が回復傾向にはあるものの、製造業の業況は依然低調で景気は低迷しており、欧州では、欧州ソブリン債務問題の不安拡大等により、企業マインドの低迷が続き景気は減速しており、また、中国・ブラジル等の新興国経済は、スローダウン基調となってきたこと等減速懸念が強まりました。

一方、日本経済は、東日本大震災の復興需要等の景気押し上げ要因があるものの、世界経済の減速と長引く円高の影響を受け、景気後退局面に入ったとの懸念が出てきており、国内外経済全体としては減速感の強まる状況となりました。

当社の属するファインケミカル業界は、国内外経済の減速に加え、世界の自動車産業に減速懸念が強まってきたことにより、売上高ベースでは、更に厳しい状況となりました。また、収益環境においても、円高の状況が続く中、中国・アジアマーケットを中心にグローバルな販売価格競争は依然続いており一段と厳しい状況となりました。

このような状況の下、当社の第2四半期累計期間の業績は、紫外線吸収剤の主力製品であるベンゾトリアゾール系薬剤の海外向け販売数量が前年同四半期比6割程度と低迷した影響により、売上高では前年同四半期比799百万円減少し、3,998百万円（前年同四半期比16.7%減）となりました。利益面は、経費圧縮に努めましたものの、減収に伴う利益悪化要因に加え、一部の製品の生産効率低下による利益圧迫要因等により、営業利益は156百万円

（同48.1%減）、経常利益は、生産休止費用等の計上もあり59百万円（同74.3%減）となりました。四半期純利益については、明石工場事故に係る保険金収入49百万円を特別利益に計上したこと、当該事故に係る事故対策費32百万円を特別損失に計上したこと、法人税等30百万円を計上したことにより、45百万円（同42.2%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (化学品事業)

当第2四半期累計期間の売上高は、国内外経済の減速に加え、世界の自動車産業の減速懸念が強まってきたことを受け、紫外線吸収剤の主力製品であるベンゾトリアゾール系薬剤の海外向け販売数量が前年同四半期比6割程度と低迷した影響により、紫外線吸収剤で同570百万円減の2,177百万円（前年同四半期比20.8%減）となったことに加え、国内外経済の減速の影響は、製紙用薬剤、電子材料、写真薬中間体においてもでてきており、各々について相当程度の減収となった結果、全体では同793百万円減の3,416百万円（同18.9%減）となりました。

#### (ホーム産業事業)

当第2四半期累計期間の売上高は、木材保存薬剤における新規製品の売上寄与もありましたものの、不採算であったDIY商品からの撤退に伴う減収などにより、全体では前年同四半期比ほぼ横這いの581百万円となりました。

(品目別販売実績)

(単位：千円、%)

セグメント別	期別 区分	前第2四半期累計期間 平成24年3月期		当第2四半期累計期間 平成25年3月期		増減
		金額	構成比	金額	構成比	金額
化学品事業	紫外線吸収剤	2,748,624	57.3	2,177,968	54.5	△570,656
	写真薬中間体	235,567	4.9	167,613	4.2	△67,953
	製紙用薬剤	250,546	5.3	137,233	3.4	△113,312
	酸化防止剤	135,274	2.8	130,530	3.3	△4,744
	電子材料	159,052	3.3	84,379	2.1	△74,672
	防錆剤	24,525	0.5	25,231	0.6	706
	染顔料中間体	9,325	0.2	10,440	0.2	1,114
	その他	647,776	13.5	683,404	17.1	35,628
	(小計)	4,210,692	87.8	3,416,802	85.4	△793,889
ホーム産業事業	木材保存薬剤	483,184	10.1	482,533	12.1	△651
	D I Y商品	26,644	0.5	11,944	0.3	△14,700
	その他	77,814	1.6	87,380	2.2	9,565
	(小計)	587,643	12.2	581,857	14.6	△5,785
合計		4,798,336	100.0	3,998,660	100.0	△799,675

(注) 金額は、消費税等を含んでおりません。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期末(以下「当四半期末」という)の総資産は、前事業年度末(以下、「前期末」という)比1,253百万円増加し、13,909百万円となりました。流動資産は同1,254百万円増の9,108百万円、固定資産は同1百万円増の4,791百万円、繰延資産は同2百万円減の10百万円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加額1,220百万円、受取手形及び売掛金の減少額53百万円、たな卸資産の増加額99百万円などによるものであり、固定資産の増加の主な要因は、有形固定資産の増加額10百万円、無形固定資産の減少額7百万円、投資有価証券の減少額3百万円などによるものであります。

当四半期末の負債は、前期末比1,293百万円増加し、10,178百万円となりました。流動負債は同589百万円増の7,119百万円、固定負債は同703百万円増の3,058百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加額422百万円、短期借入金の増加額50百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加額179百万円、未払法人税等の減少額88百万円などによるものであり、固定負債の増加の主な要因は、長期借入金の増加額748百万円などによるものであります。

当四半期末の純資産は、前期末比39百万円減少し、3,731百万円となりました。この減少の主な要因は、四半期純利益45百万円を計上いたしましたが、配当金の支払82百万円があったことにより、利益剰余金が減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は26.8%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

世界経済は、米国の製造業が依然低調であり、欧州ソブリン債務問題による企業マインドの低迷、新興国経済までがスローダウン基調となっており、世界の自動車産業が今後更に減速する懸念も強まってきております。また、日本経済も、世界経済の減速を受け、輸出が減少傾向となっており、景気後退傾向が強まるものと思われる、国内外経済は更に厳しい状況になると思われます。

このような中、当社といたしましては、新規ビジネスへの積極的な経営資源投入を行い、新分野の事業開拓に注力しておりますが、下期(10月～3月)の売上高は、上期(4月～9月)実績と同程度で推移するものと見込まれることから、当期の通期業績予想における売上高は7,940百万円(前年同期比7.4%減)、営業利益は減収に伴う減益要因により280百万円(同46.8%減)、経常利益は受注数量の減少に伴い相応の生産休止費用を見込んでおり80百万円(同77.7%減)、当期純利益は50百万円(同62.4%減)となると予想しております。

なお、平成25年3月期の期末配当予想につきましては、通期業績予想を踏まえ、1株当たり5円から1株当たり2円50銭に修正しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第2四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積り変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,561,273	3,782,248
受取手形及び売掛金	2,043,997	1,990,004
商品及び製品	2,631,987	2,636,876
仕掛品	141,850	152,975
原材料及び貯蔵品	366,285	450,163
その他	121,091	109,101
貸倒引当金	△13,052	△13,369
流動資産合計	7,853,433	9,108,001
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,003,299	984,505
土地	2,980,462	2,980,462
その他(純額)	567,166	596,619
有形固定資産合計	4,550,928	4,561,587
無形固定資産		
投資その他の資産	38,240	31,153
投資有価証券	105,073	101,765
その他	115,923	117,004
貸倒引当金	△20,410	△20,228
投資その他の資産合計	200,586	198,540
固定資産合計	4,789,756	4,791,281
繰延資産	12,873	10,577
資産合計	12,656,062	13,909,859
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,008,218	1,431,112
短期借入金	3,900,000	3,950,000
1年内返済予定の長期借入金	981,667	1,161,508
未払法人税等	126,638	38,103
賞与引当金	50,397	52,596
その他	463,425	486,655
流動負債合計	6,530,347	7,119,976
固定負債		
社債	250,000	250,000
長期借入金	1,326,898	2,075,744
退職給付引当金	273,347	288,042
環境対策引当金	2,172	2,172
その他	501,977	442,350
固定負債合計	2,354,394	3,058,308
負債合計	8,884,741	10,178,284

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,155,352	2,155,352
資本剰余金	1,052,562	1,052,562
利益剰余金	565,859	528,971
自己株式	△13,840	△13,982
株主資本合計	3,759,934	3,722,904
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,387	8,671
評価・換算差額等合計	11,387	8,671
純資産合計	3,771,321	3,731,575
負債純資産合計	12,656,062	13,909,859



(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	4,798,336	3,998,660
売上原価	3,894,450	3,283,534
売上総利益	903,885	715,126
販売費及び一般管理費	603,292	559,077
営業利益	300,593	156,049
営業外収益		
受取利息	58	61
受取配当金	2,408	2,562
その他	30,667	11,290
営業外収益合計	33,134	13,914
営業外費用		
支払利息	60,626	52,659
生産休止費用	—	46,046
その他	42,414	11,869
営業外費用合計	103,041	110,575
経常利益	230,685	59,388
特別利益		
保険金収入	—	49,684
特別利益合計	—	49,684
特別損失		
固定資産除却損	74,522	—
事故対策費	—	32,402
特別損失合計	74,522	32,402
税引前四半期純利益	156,163	76,670
法人税、住民税及び事業税	76,629	30,709
四半期純利益	79,533	45,961

（3）継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。